

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 5 月 30 日現在

機関番号：24501

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2011～2013

課題番号：23720347

研究課題名(和文)古チベット語史料による古代チベット帝国の統治体制の研究 税制と土地制を中心に

研究課題名(英文)Administrative system of the Old Tibetan Empire based on Old Tibetan Documents, with a focus on taxation and land system

研究代表者

岩尾 一史(Iwao, Kazushi)

神戸市外国語大学・外国語学研究科・研究員

研究者番号：90566655

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,200,000円、(間接経費) 960,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の主な成果は以下の通りである。

(1)土地制：古チベット語の土地文書の断片は現在のところ13点確認される。そのうち1点は中国国家図書館所蔵敦煌文書で本研究により初めて確認された。これら进行分析した結果、土地調査が帝国内で一律に行われていたことが明らかになった。(2)税制：チベットの frontline 基地に派遣された兵士たちが土地を与えられて屯田を行うと共に、納税も行っていったことを明らかにした。チベット支配下敦煌における写経事業が古代チベット帝国の外交成功(四国会盟成立)を顕彰したものであることを突き止めると同時に、事業にかかる費用が様々な名目で敦煌住民から徴税されたことを明らかにした。

研究成果の概要(英文)：The main achievements of this research project are following points:

(1) Land system: Thirteen fragments of the Old Tibetan land registry are currently found. One of them is an official land registry preserved in the National Library of China, which is newly discovered by this research. The analysis of these documents apparently indicates that there existed a uniform land survey throughout the Old Tibetan Empire. (2) Tax system: (a) Tibetan soldiers stationed in the fort along the front line were allotted a certain extent of the land, from which the land tax was levied. (b) The sutra copying project in Tibetan-ruled Dunhuang started in commemoration of the diplomatic success, i.e. the conclusion of treaty between Tibet and three states (Tang China, Uighur, Nanzhao) of 822-823. All costs of the project were levied from Dunhuang inhabitants in various taxes.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・東洋史

キーワード：吐蕃 土地制 税制 敦煌 中央アジア チベット史 出土文書

1. 研究開始当初の背景

古代チベット帝国の国家制度は、従来中世チベット語史料や漢語編纂史料に依拠して研究が進められてきたこともあって、必ずしもその詳細は明らかになっていなかった。しかし現在、古チベット語史料の環境は劇的に変化し、特に今まで未出版であった出土史料が次々と公表されている。またそれに伴いチベット語読解のレベル自体も格段に深化しつつあった。これら出土史料を十二分に利用すれば、今まで未解明であった古代チベット帝国の国家像を一定程度提示することが可能な状況になりつつある。

かかる状況のもと、本研究代表者は主に出土史料に依拠しつつ、2003年以來チベット帝国の軍制や土地制について研究を行っていた。その結果、本研究を開始する以前に基本資料は既に揃い、またある程度の研究見通しをつけており、採択すればすぐさま研究を開始できる状況が整っていた。

2. 研究の目的

本研究の目的は、中央アジア出土の古チベット語および漢語文書史料を活用して、古代チベット帝国(吐蕃)の統治制度、特に税制と土地制を明らかにすることであった。これにより、従来未解明であった古代チベット帝国の統治体制の一端を明らかにし、古代チベット帝国の国家像を提示しようとした。それを通じて、7-9世紀の中央ユーラシア地域の具体像の構築に寄与することを目指していたのであった。

3. 研究の方法

中央アジア出土文書ならびに関係資料のうち、すでに出版されているものやオンラインで公開しているものについて網羅的に収集し、総合的に研究を進めた。特に重要文書については、所蔵している各機関(大英図書館、フランス国立図書館、ギメ東洋美術館)に出向き、税制・土地制に関する文書を実見した。

得られたデータを元に学会発表し、関係する研究者のコメントを得て個別の論文として発表した。

4. 研究成果

(1) 土地文書の研究

- ・ 現存する古チベット語の土地文書を網羅し、その内容を分析して学会発表、論文を出版した。
- ・ 古チベット語の土地公文書の内容とそこに押されている公印との齟齬について研究し、チベット帝国における農・牧の区別と土地制との関係についての見解を学会発表した。現在出版を計画中である。
- ・ 中国国家図書館(北京)所蔵の敦煌チベット語文書の中に未出版の土地文書

を発見して内容を研究し、学会発表を行った。現在出版を計画中である。

(2) 税制とそれに関連する研究

- ・ 敦煌出土チベット語穀物倉会計文書の研究を行い、その中に現れる古代チベット独自の複数年度の会計制度について指摘し、論文を発表した。
- ・ チベット支配下の敦煌で大規模に行われた写経事業に注目し、それら事業が行われたきっかけが、古代チベット帝国の外交成功(四国会盟成立)であることを突き止めた。また写経事業にかかる費用が形式上は国庫負担になってはいたものの、実態としては敦煌住民の負担となっていたことを、敦煌文書をから明らかにし、その成果を学会発表した。
- ・ チベットの前線基地にいる兵士たちと、出身地にいる家族たちがどのように納税を行っていたのかを、徴税単位 rkya に注目して研究し、前線の兵士たちも辺境の地で土地を与えられ、納税義務を追っていたことを発見し、学会発表を行った。

(3) その他の主な成果

- ・ 大英図書館所蔵スタインコレクション Or.8210 中の古チベット語文書の悉皆調査を行った結果、100点弱の古チベット語文書を発見し、Sam van Schaik、Tsuguhito Takeuchi とともに目録を出版した。
- ・ 研究遂行中にチベット語公文書を通覧した結果、共通する行政用語を幾つか発見した。それらの意味と行政手続きについて研究を進め、学会発表を行った。この結果については別のプロジェクトを立ち上げて網羅的に研究を進め、順次論文として発表する予定である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計10件)

岩尾 一史 古代チベット帝国の外交と

「三国会盟」の成立『東洋史研究』72-4
(査読有)、2014、748-716頁

岩尾 一史 再論「吐蕃論董勃藏修伽藍
功德記」—羽689の分析を中心に『敦煌
写本研究年報』8(査読有)、2014、
205-215頁

岩尾 一史 古代チベット帝国の千戸と
その下部組織：百戸、五十戸、十戸『東

方学報』(京都)88(査読有)、2013、
358-343頁

岩尾 一史 古代チベット帝国の敦煌支配と寺領:Or.8210/S.2228の検討を中心に『敦煌写本研究年報』7(査読有)2013、
257-279頁

Kazushi Iwao The Purpose of Sutra Copying in Dunhuang Under the Tibetan Rule, *Dunhuang Studies: Prospects and Problems for the Coming Second Century of Research* (査読有)、2012、102-105頁

Kazushi Iwao Organisation of the Chinese Inhabitants in Tibetan-ruled Dunhuang, Proceedings of the Tenth Seminar of International Association for Tibetan Studies: St. Hugh' College (査読有) 2012、65-75 頁

Kazushi Iwao Preliminary Study on the Old Tibetan Land Registries from Central Asia 『語言背後の歴史:西域古典語言学高峰論壇論文集』(査読無)2012、
175-182 頁

Kazushi Iwao Reconsidering the Sino-Tibetan Treaty Inscription, *Historical Development of the Tibetan Languages (Journal of Research Institute, vol. 49)*(査読有)、2012、19-28 頁

岩尾 一史 敦煌文書における紛れ込み問題覚書『敦煌写本研究年報』6(査読有)2012、239-247 頁

岩尾 一史 古代チベット帝国支配下の敦煌における穀物倉会計:S.10647+Pelliot tibetain 1111 の紹介『内陸アジア言語の研究』XXVI(査読有)2011、39-47 頁

[学会発表](計9件)

岩尾 一史 チベット文献『2013年度東洋文庫講習会 非漢字文献』(招待講演)

2013年10月28日、東洋文庫

岩尾 一史 古代チベット帝国の文書行政と行政用語『ユーラシア東部地域における公文書の史的展開』(招待講演)、2013年9月22日、大阪大学

Kazushi Iwao Some technical terms in Old Tibetan Official documents, *The 13th Seminar of the International Association of Tibetan Studies*, 2013年7月20日~27日、The Mongolian Academy of Sciences, The National University of Mongolia (ウランバートル)

Kazushi Iwao New discoveries and studies of the Old Tibetan documents, 北京大学国際漢学家研修基地第20次学術報告会(招待講演)、2013年03月27日、北京大学漢学中国古代史研究中心

Kazushi Iwao Frontier soldiers and the taxation of the Old Tibetan Empire, The third International Seminar of Young Tibetologists, 2012年9月3日~7日、Kobe City University of Foreign Studies

Kazushi Iwao A preliminary study of an Old Tibetan land registry preserved in the National Library of China, 西域-中亜語文学国際学術研討会 / International Symposium on Central Asian Philology, 2012年11月22日~25日、中央民族大学(北京)

Kazushi Iwao Dating the manuscripts of Annals and Chronicle in Dunhuang, Merkmals and Mirages: a Conference and Workshop on Dating (Old) Tibetan Writing, 2012年6月25日~27日、Munich

岩尾 一史 古代チベット帝国における農民・牧民の区別と徴税『日仏東洋学会』、2012年3月26日、京都大学

岩尾 一史 古代チベット支配下敦煌に

おける写経事業とその経費処理『内陸アジア史学会』、2011年11月12日、富山大学

研究者番号：

(3) 連携研究者 ()

研究者番号：

〔図書〕(計2件)

Tsuguhito Takeuchi, Kazushi Iwao, Ai Nishida 他2名, *Current Issues and Progress in Tibetan Studies: Proceedings of the Third International Seminar of Young Tibetologists, Kobe 2012*, Kobe City University of Foreign Studies, 2014, iv+581頁

Kazushi Iwao, Sam van Schaik and Tsuguhito Takeuchi, *Old Tibetan Texts in The Stein Collection Or. 8210: Studies in Old Tibetan Texts from Central Asia, vol. 1.*, the Toyo Bunko, 2012, xvii+139+115頁

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

岩尾 一史 (IWA0 Kazushi)
神戸市外国語大学・外国語学研究科・研究員
研究者番号：90566655

(2) 研究分担者

()